

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

明治安田生命保険相互会社（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
保険金支払能力格付	AA
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- (1) 国内の大手生命保険グループの一角を占める明治安田生命グループの中核会社。団体保険のシェアは国内トップを誇る。グループは海外保険事業を含めたグループ全体の成長を目指しており、子会社に米国スタンコープ社などを擁し、地域の分散と収益源の多様化を進めている。明治安田生命保険の発行体格付は、グループ信用力と同等としている。グループ信用力は、国内における堅固な事業基盤、保有契約の厚みなどを背景とした安定的な収益力、リスク対比でみた資本充実度などを評価し「AA」相当とみている。事業基盤、損益、資本など定量面での安定感が強みである。契約業績は堅調に推移しており、新契約価値も着実に積み上がっている。金利リスクの削減を着実に進めており、経済価値ベースの指標における感応度は低下している。
- (2) 医療、介護、就業不能など保障の組み合わせと、加入後のライフステージに応じた保障内容の見直しに自在性のある商品の特徴としている。若年層向けには小口の生損保商品を投入して新規開拓を進めている。健康増進型商品や関連サービスの提供も進めており、これらの取り組みによって顧客数（契約者数等）が着実に増加している。メインチャネルの営業職員は3万人超を有し、報酬体系や教育制度の見直しにより比較的良好な在籍率を維持している。また、デジタルを活用した営業手法の高度化もあって生産性や効率性が向上している。主力商品の販売は堅調に推移しており、契約者へのアフターフォロー徹底が解約・失効・減額率の抑制に結びついていると考えられる。海外保険事業において、スタンコープ社の契約業績は、団体保険事業が好調なことなどから堅調に推移している。現地企業を複数買収したこともあり、今後は利益水準の向上が見込まれる。海外保険事業による利益貢献は、グループ全体の保険料および基礎利益の1割超を占めている。
- (3) グループの収益力は比較的高く安定している。契約業績は、外貨建一時払商品の販売動向などによって変動がみられるが堅調に推移している。新契約年換算保険料は、中期的にみて一定の水準が保たれている。注力する第三分野商品の保有契約は増加しており、大規模な保有契約を背景に比較的厚い危険差益を確保している。外債運用にかかる為替ヘッジコストの増加がみられるが、基礎利益は底堅く推移している。保障性商品の販売強化によって、保有契約の商品ミックスが変化している。経済価値ベースの企業価値を示すグループサープラスは着実に拡大しており、商品ごとのリスク・リターンバランスを確保することで同様のトレンドを継続できるか注目していく。
- (4) リスク対比でみた資本充実度はAAレンジ相応とJCRはみている。ESRで見ると相当程度のストレスがかかる状況においても十分に健全性を維持できる水準にある。早くからサープラス・マネジメント型ALMの下で金利リスク量の抑制に意を用いたリスク管理を実践してきたことから、経済価値ベースの管理・運営が浸透している。デュレーションギャップの縮小による金利リスクの削減を進めており、ESRの感応度は抑制される方向にある。海外事業が拡大しつつありグループ一体的なERMの重要性が増している。グループはERM経営の高度化を通じて、健全性の水準に応じた適切かつ慎重なリスク管理を継続していくとJCRはみている。

(担当) 杉浦 輝一・宮尾 知浩・松澤 弘太

■ 格付対象

発行体：明治安田生命保険相互会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的
保険金支払能力	AA	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,000 億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年1月19日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：杉浦 輝一
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「生命保険」（2013年7月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 明治安田生命保険相互会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル